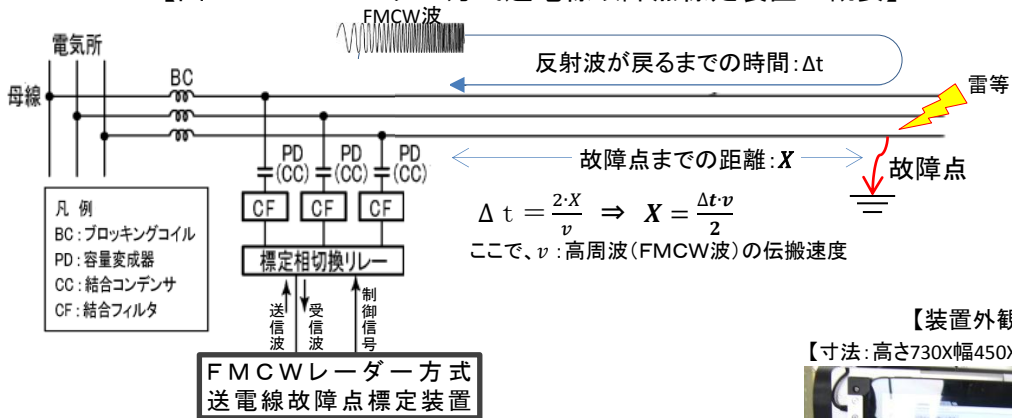


## 1. FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置の概要

今回開発した「FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置」の概要は、図1のとおり。

【図1:FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置の概要】



【装置外観】

【寸法:高さ730X幅450X奥行440mm】

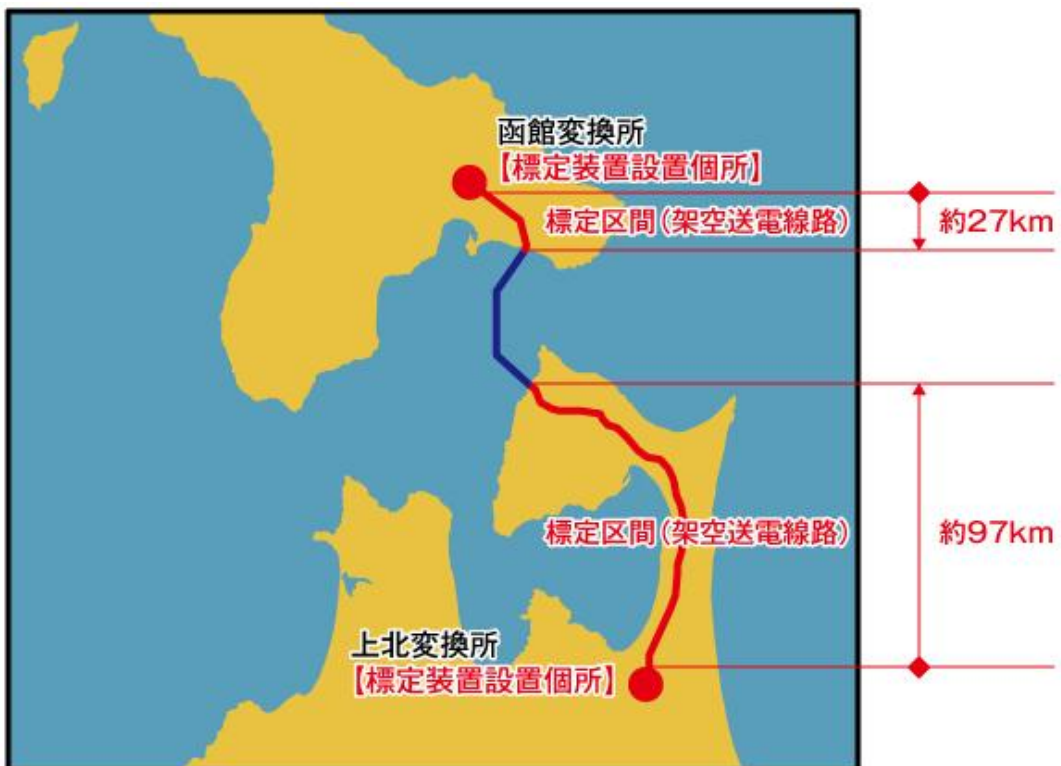


| 標定方式      | FMCWレーダー方式                                   |
|-----------|--|
| 構成        | 波形入出力処理装置、回線切替器                              |
| 印加パルス電圧   | 150V <sub>rms</sub> 以下 (rms, 正弦波)            |
| 印加パルス形態   | 周波数変調連続波(FMCW)                               |
| 印加パルス掃引時間 | 可変   |
| 印加パルス周波数  | kHz帯(現場条件により範囲設定)                            |
| 印加方式      | 金属回路方式/金属回路大地帰路方式                            |
| 標定可能距離    | 200km以上                                      |
| 標定結果の表示   | 標定値(故障点距離)表示、標定回線・相表示、波形データ、近傍情報、メールによる標定値転送 |
| データ記録方式   | 電子媒体保存                                       |
| 構造        | 自立規格架(19インチラック)収納                            |

## 2. 北海道・本州電力連系設備での運用概要

北海道・本州電力連系設備での「FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置」の運用概要は、図2のとおり。

【図2:北海道・本州電力連系設備 FMCWレーダー方式送電線故障点標定装置の運用概要】



※直流帰線は常時接地されており、事故時の故障電流が微弱なため、レーダー方式(パルス方式または、FMCW方式)のみが故障点標定が可能